

令和3年度

芸術系 教科等担当教員等 全国オンライン 研修会



小学校 音楽科/図画工作科 中学校 音楽科/美術科 高等学校 芸術科(音楽, 美術, 工芸, 書道)

開催日程

全国オンライン研修会は、全2回開催いたします

第1回 2021.12.9(木)

第2回 2022.2.17(木)

令和元年にスタートした「芸術系教科等担当教員等研修会」は、新型コロナウイルス感染拡大の状況等を鑑み、昨年度はオンラインにて開催しています。

本年度も、芸術系教科の担当教員等を対象とした「全国研修会」をオンラインにて開催いたします。芸術系教科等の本質に迫り、授業づくりを見直し、指導方法や評価方法等の工夫改善について考える、充実した学びの機会にぜひご参加ください。

主催 文化庁
共催 全国芸術系大学コンソーシアム及び協力大学

全国オンライン研修会は、学習指導要領の趣旨を踏まえた理論研修・実践研修を実施し、指導方法や評価方法等の工夫改善等につなげ、初等中等教育の芸術系教科等における指導の充実に資することを目的とします。

研修スケジュール／ご参加について

8:30	9:30	9:45	10:25	10:45	11:45	13:00	16:00	16:10	16:30
受付	開講式及び オリエンテーション	全体研修	休憩・ 準備	理論研修 (教科・科目別)	昼食	テーマ別 実践研修 (教科・科目別)	休憩・ 準備	全体講評	

全体研修

芸術系教科等の意義、役割、新学習指導要領の趣旨を踏まえた今後の学習指導における課題や可能性について研修します。

教科・科目別※の「理論研修」

新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の在り方や学習評価等について、文化庁教科調査官が講義を行います。

※小学校音楽科、小学校図画工作科、中学校音楽科・高等学校芸術科音楽、中学校美術科・高等学校芸術科美術及び工芸、高等学校芸術科書道の5分科会に分かれて実施します。

テーマ別 実践研修(教科・科目別)

芸術系大学の教員や広く活躍している芸術家等が講師を務め、学習指導要領の趣旨やねらいの実現を目指した授業を展開するための実践手法を中心に、芸術系大学等の特性を生かした実践的な内容を学びます。

対象

- 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校及び特別支援学校の教諭等であり芸術系教科等を担当している方又は予定している方(非常勤講師等を含む)
- 都道府県、指定都市教育委員会等の指導主事等

受講要件

- オンライン研修の受講に必要な機器、環境(受講場所等)を準備できること
- 原則として、全ての研修プログラムを受講できること

参加手続き等

参加手続き等の詳細については、教育委員会等を通じてご連絡いたします。

「テーマ別実践研修」のテーマ／担当大学／定員等について

第1回

令和3年12月9日(木)開催分

教科	研修番号	研修テーマ等	担当大学	定員
小学校音楽科	小音1	自然で無理のない歌い方の指導、諸外国の音楽の楽しみ方、パイプオルガンの世界をのぞいてみよう	エリザベト音楽大学	40名
	小音2	学びが深まる「常時活動」の工夫：歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の学習へのつながり	東京藝術大学	40名
小学校図画工作科	小図1 (小図4と同じ)	新たな表し方の工夫「木版リトグラフに挑戦しよう」	京都市立芸術大学	20名
	小図2 (小図5と同じ)	解き放たれた版画 ー表現としてのアートブックー 子どもたちの豊かな思考力、判断力、表現力等の育成を目指して	武蔵野美術大学	30名
	小図3 (小図6と同じ)	創造的に発想や構想する力を育むコラージュ技法の指導と事例を通して学ぶ地域と連携した題材の展開	東京造形大学	30名
中学校音楽科 高等学校芸術科(音楽)	中高音1	ICTを用いた音楽創作 ※iPad音楽創作アプリ(Garage Band)を使用	エリザベト音楽大学	40名
	中高音2	リコーダーの教育的特性と指導法：リコーダーについてより深く知り、実技体験を通して指導法を探究する	東京藝術大学	40名
	中高音3	伝統音楽から学ぶ「身体で感じ取る音楽の授業」～三味線音楽と能楽～	京都市立芸術大学	20名
中学校美術科 高等学校芸術科(美術)	中高美1 (中高美7と同じ)	なるほど!知らなきゃ損する映像術 ～映像メディアによる表現活動～ ※受講機器以外にタブレット端末又はノート型PCを使用	京都市立芸術大学	20名
	中高美2 (中高美8と同じ)	「知識及び技能」の実感を伴う習得を実現させ、表現と鑑賞をより豊かに深化させる造形活動の工夫 ※受講機器以外にタブレット端末又はスマートフォンがあると便利	武蔵野美術大学	30名
	中高美3 (中高美9と同じ)	絵を読むということ ー見方や感じ方を深める手立てと授業づくりー	東京造形大学	20名
	中高美4	陰刻レリーフの研究 ～シーリングワックス印の制作を通して 授業への応用について～	秋田公立美術大学	15名
	中高美5	14歳からのコラージュ絵画表現 ～日本画材料を用いた表現を通して、創造的に表す技能や構想に関する資質・能力など、美術の本質に迫る学習評価について探る～	沖縄県立芸術大学	20名
	中高美6	アルミホイルを使った彫刻(素材から構想する昆虫の形体)	沖縄県立芸術大学	10名
中学校美術科 高等学校芸術科(工芸)	中美高工1 (中美高工2と同じ)	植物繊維から糸を縫い網を編む ～縄文時代を想起させる素材と方法～	東京藝術大学	40名
高等学校芸術科(書道)	高書1 (高書2と同じ)	書道教育におけるICTを効果的に活用した指導の工夫 ～新しい教育課程と学習評価を踏まえて～	東京学芸大学	40名

第2回

令和4年2月17日(木)開催分

教科	研修番号	研修テーマ等	担当大学	定員
小学校音楽科	小音3	やってみよう!身体で感じとる我が国の音楽 ～能楽と三味線音楽の世界ようこそ～	京都市立芸術大学	20名
	小音4	音楽科授業におけるICTの活用：鑑賞の学習を中心として	東京藝術大学	50名
小学校図画工作科	小図4 (小図1と同じ)	新たな表し方の工夫「木版リトグラフに挑戦しよう」	京都市立芸術大学	20名
	小図5 (小図2と同じ)	解き放たれた版画 ー表現としてのアートブックー 子どもたちの豊かな思考力、判断力、表現力等の育成を目指して	武蔵野美術大学	30名
	小図6 (小図3と同じ)	創造的に発想や構想する力を育むコラージュ技法の指導と事例を通して学ぶ地域と連携した題材の展開	東京造形大学	30名
中学校音楽科 高等学校芸術科(音楽)	中高音4	実践指揮法 一曲にふさわしい音楽表現を創意工夫し、実現するための視点と方法を学ぶー	東邦音楽大学	50名
	中高音5	学びを深める鑑賞の指導法を探究する 一曲想と音楽の構造との関わりについて様々な視点から理解を深め、「聴き方」について考えるー	東京藝術大学	50名
中学校美術科 高等学校芸術科(美術)	中高美7 (中高美1と同じ)	なるほど!知らなきゃ損する映像術 ～映像メディアによる表現活動～ ※受講機器以外にタブレット端末又はノート型PCを使用	京都市立芸術大学	20名
	中高美8 (中高美2と同じ)	「知識及び技能」の実感を伴う習得を実現させ、表現と鑑賞をより豊かに深化させる造形活動の工夫 ※受講機器以外にタブレット端末又はスマートフォンがあると便利	武蔵野美術大学	30名
	中高美9 (中高美3と同じ)	絵を読むということ ー見方や感じ方を深める手立てと授業づくりー	東京造形大学	20名
	中高美10	漫画の仕組みと多様な表現の可能性 ～漫画を活用した新たな表現方法を探る～	女子美術大学	20名
中学校美術科 高等学校芸術科(工芸)	中美高工2 (中美高工1と同じ)	植物繊維から糸を縫い網を編む ～縄文時代を想起させる素材と方法～	東京藝術大学	40名
高等学校芸術科(書道)	高書2 (高書1と同じ)	書道教育におけるICTを効果的に活用した指導の工夫 ～新しい教育課程と学習評価を踏まえて～	愛知教育大学	40名